

がたの
あしたの
がっこう



第4回地域協議会
2019年9月25日(水)
19:00 ~ 21:00
市役所別館3階中会議室
参加者 35名

4回目の地域協議会を開催

9月25日(水)に第4回「地域協議会(1年1組)」を開催し、仮設校舎について話し合いました。仮設校舎の位置を変えた複数の工事例のデメリットを、どうすれば地域の人たちで解決できるのかを話し合うことが今回の目的です。

- 第3回 8/29** 工事期間中の教育環境を考える
デメリットを解消する方法を考える
- 第4回 9/25** 工事期間中のデメリットを解消するために
地域でできることを考える

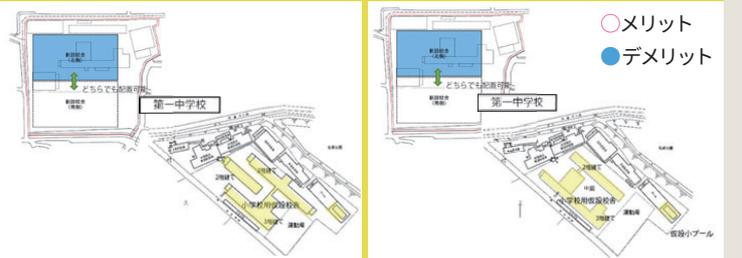
前回のふりかえり

前回話し合った内容をテーマ別にテーブルに分かれて、振り返りました。テーマは「登下校の安全の確保(見守り)」、「登下校の安全の確保(交通手段)」、「通学路の経路(交野小学校へのルート)」、「通学路の経路(長宝寺小学校へのルート)」です。また新たに出された工事期間中の仮設校舎の案(C案)について意見を交わしました。デメリットの解決方法のひとつに「登下校時の見守り活動」がありますが、その担い手不足が課題となっています。解決方法を実現するために、具体的な解決方法について話し合っていました。

追加された校舎プラン(C案)

追加された仮設校舎の案(C案)について、メリット、デメリットを整理しました。その中でC-1案とC-2案となりデメリットの解決方法は、他の案と同様の意見があげられました。

C-1案 整備期間中、第一中学校の敷地に交野小学校・長宝寺小学校児童が通う場合
C-2案 整備期間中、第一中学校の敷地に交野小学校児童が通う場合



- | 通学路(工事期間中) | |
|-------------------------|---------------------|
| ○ 工事車両と通学路の分離 | ○ 通学距離に変更がない |
| ● 長宝寺小児童の進学距離が長くなる地域がある | ● 工事中の通学事故 |
| ● 下校時などの安全確保 | |
| 通学路(新校舎整備後) | |
| ● 通学環境が変わる | ● 通学環境が変わる |
| 工事期間中の騒音・振動 | |
| ○ 騒音・振動などの影響がない | ○ 騒音・振動などの影響がない |
| グラウンド・体育館・プールなどの使用 | |
| ● 周辺の施設を使う必要がある | ● 周辺の施設を使う必要がある |
| ● 移動の負担・安全確保 | ● 移動の負担・安全確保 |
| 工程及び工期、建設費その他備考 | |
| ○ 新設校舎の配置の自由度が高い | ○ 新設校舎の配置の自由度が高い |
| ● 建設コストが高くなる | ○ 建設コストがC-1案よりも安くなる |

デメリットを解決するために地域でできること

工事期間中のデメリットを解決するために地域でできることを、同じ地区や近い地区ごとに集まって話し合いを進めました。同じ地区や近い地区の人たちが協力できれば、新たな解決方法が見えてきたり、解決策の実現性が高くなるからです。

各団体の現在の取り組みを共有する話し合いから、知らなかった活動をお互いに知ることができたという地域や、各団体の組織同士が協力して活動したいという意見もありました。



梅が枝・郡津・私部西・私部四丁目①

大人同士がつながることが子どもの安全につながる。また、お祭りにスタッフとして参加するなど、子どもたちに役割をつくることは、中学生になっても地域の取り組みに来てくれるような効果がある。

交流活動: にぎわいフェスタやぶどう狩りなどのイベント。職業体験の授業に協力している方、お店で子ども向けの教室を開催している方など

見守り活動: グラウンドで遊ぶ子どもたちを見守り、また、一緒に遊ぶ活動

梅が枝・郡津・私部西・私部四丁目②

今後、取り組みを発展させていく動きとして、校区福祉委員と梅が枝自治会と連携して取り組んでいくような動きが始まっている。

交流活動: にぎわいフェスタや七夕まつり、昔遊びや給食交流会、体育大会のお茶の配給

見守り活動: 子ども 110 番やあいさつ運動などの「見守り活動」がある

施設活用: 子育てサロンなどでの空き教室の利用や防災訓練

私部・行殿①

さまざまな見守り活動が実施されているが、どの地域でどんな見守り活動がされているか全体像の把握ができていない。1年に1度でも情報共有できる場があれば、見守りの精度も変わってくるのではないかと。

交流活動: 地域と子どもたちが顔見知りになるために、子どもたちが参加できるような地域のお祭りなどが大切

見守り活動: あいさつ運動、子ども 110 番の家、個人が自主的にする見守り。親も子どもたちも地域に見守られていることを意識できるようにしていく必要がある

私部・行殿②

地域での活動を活発にされている方たちは多い。それぞれがどんな取り組みをしているかなどを把握し、連携しながら活動できているが、それでも担い手不足が課題。地域での見守り活動を拡げていくためには、活動主体を増やしていく工夫がますます必要になってくる。

交流活動: 子どもみこしや、田植え、稲刈り、市民祭など地域のさまざまなお祭りに参加、清掃活動

見守り活動: 朝のあいさつ、パトロール、子ども 110 番、飛び出し坊やの設置

青山・向井田・私部南

さまざまな区の取り組みについて、区に入っていないと情報が得られない。仕事などが忙しく、小中学生の子どもがいる世帯は区の活動に参加したくてもなかなか参加できないことが多い。いくつかの区が合同で活動することで、役割を分散させ、区の活動への参加のハードルを下げると、解決につながるかもしれない。

交流活動: まちづくり委員、青少年指導員などが地域で小中学生との交流活動をしている。まちづくり委員の小学生委員をつくと良いのではとの意見があった。



次回のご案内

第5回地域協議会

「学校と地域の連携について」

10月17日(木) 19:00～21:00

別館3階中会議室

次回までの宿題



それぞれの団体として、子どもたちと顔見知りの関係を築くことや、見守りの強化のためにできることを考えてくる！

製作: studio-L

発行: 交野市教育委員会事務局

学校規模適正化室

〒576-0052

私部2丁目29番1号